



# ストレージVMの管理

## AFX

NetApp  
February 11, 2026

# 目次

ストレージVMの管理 .....	1
AFXストレージシステムのSVMを表示する .....	1
AFXストレージシステムSVMを作成する .....	1
AFXストレージシステムSVMを構成する .....	2
AFXストレージシステムSVMの移行 .....	2
相互運用性の考慮事項 .....	3
関連情報 .....	4

# ストレージVMの管理

## AFXストレージシステムのSVMを表示する

AFX クラスターで定義されているデータ ストレージ VM を表示できます。各 SVM は、データを整理し、クライアント アクセスを提供するための分離された環境を提供します。

### 手順

1. システム マネージャーで、クラスター を選択し、次に ストレージ **VM** を選択します。
2. 希望するSVMにマウスを移動して選択。SVM の起動と停止を含む主要な管理オプションを表示します。
3. 必要に応じて特定の SVM を選択し、概要、設定、レプリケーション、ファイル システムなどの詳細を表示します。

### 関連情報

- ["AFXシステムSVMを構成する"](#)
- ["ストレージ仮想マシンを理解する"](#)

## AFXストレージシステムSVMを作成する

SVM を作成すると、分離を実現し、セキュリティを強化できます。組織内のさまざまなグループやプロジェクトに対してこれを実行できます。

### タスク概要

SVM を作成するときは、名前を指定し、クライアント アクセス用のプロトコルを少なくとも 1 つ設定する必要があります。クライアント プロトコルを選択すると、ネットワーク構成も求められます。SVM 構成は、作成後に必要に応じて変更できます。

### 開始する前に

次のものが必要になります:

- 最低4つのIPアドレス
- IPスペースの名前

### 手順

1. システム マネージャーで、クラスター を選択し、次に ストレージ **VM** を選択します。
2. 選択 **+ Add** 。
3. SVM の名前を指定します。
4. クライアント アクセスのプロトコルを選択し、必要に応じて構成の詳細を指定します。
5. IP アドレスとサブネット マスクを含む SVM のネットワーク インターフェイスを追加します。
6. ストレージ **VM** 管理 で、オプションとして次の操作を実行します。
  - a. 最大容量を有効にして値を選択する

b. SVMの管理者アカウントを管理する

7. \*保存\*を選択します。

#### 関連情報

- ["AFXシステムSVMを構成する"](#)
- ["AFX システム クラスタ ネットワークを管理する"](#)

## AFXストレージシステムSVMを構成する

SVM を作成した後、要件とクライアントのニーズに基づいて構成を更新できます。

#### タスク概要

特定の SVM のランディング ページのタブに反映されているように、SVM 構成へのアクセス パスは 4 つあります。これらには次のものが含まれます。

- 概要

これにより、ネットワーク インターフェイスとサービス、プロトコル、ストレージ、保護に関連する現在の構成の詳細の概要をダッシュボードに簡単に表示できます。

- 設定

プロトコル、サービス、ポリシー、セキュリティなどの複数の領域に整理された SVM 構成全体にアクセスして更新できます。

- レプリケーション

このページには、SVM に定義されている現在のレプリケーション関係のリストが表示されます。

- ファイルシステム

SVMのアクティビティと分析を追跡できます

#### 開始する前に

表示および更新する SVM を決定する必要があります。

#### 手順

1. システム マネージャーで、クラスタ を選択し、次に ストレージ **VM** を選択します。
2. 目的の SVM を選択し、[設定] タブを選択します。
3. ページ上の構成オプションを確認し、必要に応じて設定を選択して更新します。

## AFXストレージシステムSVMの移行

SVM を 1 つのONTAPクラスタから別の ONTAP クラスタに移行できます。AFX を使用した SVM の移行は、Unified ONTAPの場合と同じように動作しますが、相互運用性に関する考慮事項と制限がいくつかあります。SVM 移行の実行の詳細については、Unified

ONTAP のドキュメントを参照してください。

## 相互運用性の考慮事項

SVM の移行を計画して実行する前に、機能や制限などの相互運用性に関する考慮事項を認識しておく必要があります。

### ユースケース

クラスタ管理者は、SVM をソース クラスタから宛先クラスタに再配置できます。これは、容量管理と負荷分散の一環として、または機器のアップグレードやデータ センターの統合を可能にするために実行できます。AFX ストレージ システムは Unified ONTAPからのインプレース アップグレードをサポートしていないため、SVM の移行は重要なユース ケースとなります。

アプリケーション ワークロードを、Unified ONTAPクラスターから AFX クラスターに中断なく移動できます。さらに、SVM は、AFX クラスターから Unified ONTAPクラスターへ、また AFX クラスター間での移行など、他の方法でも移行できます。

### バージョンの相互運用性

次の表は、ソース クラスタと宛先クラスタのONTAPパーソナリティとリリースに基づいて許可される SVM 移行を示しています。

送受信方向	ソースバージョン	宛先バージョン
AFXに統合	9.15.1 - 9.17.1	9.17.1
AFXからUnifiedへ	9.17.1	9.17.1
AFXからAFXへ	9.17.1	9.17.1

### 事前確認

Unified ONTAPには、AFX でも実装されているいくつかの事前チェックが含まれています。さらに、AFX でサポートされていない機能にフラグを設定するための、次のようないくつかの新しい事前チェックが追加されました。

- FabricPool（複合アグリゲート上に存在するボリューム）
- シックプロビジョニングボリューム

### ボリュームプロビジョニング

ボリュームは、AFX クラスターのストレージ可用性ゾーン (SAZ) 全体にわたって配置のバランスをとるようにプロビジョニングされます。

### スペース保証

AFX はシックプロビジョニングをサポートしていません。移行対象の SVM 内のいずれかのボリュームがシック プロビジョニングされている場合、事前チェックを使用して移行を失敗させます。

### 暗号化

AFX システムはNetAppボリューム暗号化 (NVE) をサポートしますが、NetAppアグリゲート暗号化 (NAE) はサポートしません。このため、Unified ONTAPクラスタのすべての NAE ボリュームは、AFX に移行され

ると NVE ボリュームに変換されます。次の表は互換性と変換をまとめたものです。

ソース ボリューム	デスティネーション ボリューム
プレーンテキスト	プレーンテキスト
NVE	NVE
ナエ	NVE

## 追加の制限

SVM を移行する前に考慮する必要がある追加の制限があります。

### MetroCluster

AFX ストレージ システムはNetApp MetroClusterをサポートしていません。これにより、SVM の移行時に制限が生じます。MetroCluster を使用するように設定されているAFFまたはFASシステム（または Unified ONTAPパーソナリティを実行している任意のNetAppシステム）との間で AFX SVM を移行することはできません。これらの移行シナリオはサポートされていませんが、AFX 事前チェックによって明示的にブロックされることもないため、試行しないように注意する必要があります。

## 関連情報

- ["ONTAP SVMデータモビリティ"](#)
- ["AFXストレージシステムをAFFおよびFASシステムと比較する"](#)
- ["AFX ストレージ システムに関する FAQ"](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。